



50年の節目に想うこと

日本ミシュランタイヤ株式会社

～日本の皆様と共に歩んで来た半世紀～

2014年は、ミシュランにとって日本で販売を開始してから50年という節目の年となります。今から50年前となる、1964年に浜松町・羽田空港間に新設された東京モノレールに、ミシュランスチールラジアルタイヤ“X”が採用されたことを皮切りに、少しずつ日本の文化を感じながら、そして取り入れながらの半世紀でした。

1964年(昭和39年)9月、東京モノレールの浜松町駅～羽田空港駅間での開業式の様子(当時の写真より)



当初は商社を通じての販売でしたが、1978年にはミシュラン100%出資の日本ミシュランタイヤ株式会社を設立し、OEビジネスへ本格参入。1989年にはオカモト(株)との合弁にてミシュランオカモトタイヤ販売(株)を設立し補修市場へ本格参入。

そして、1991年には世界で三つ目となる研究開発施設としてミシュランリサーチアジア(MRA)を日本に設立し、世界でも最も厳しいと言われる日本のユーザーのノイズ・コンフォートニーズやスタッドレスタイヤに関して研究開発をスタート。

その成果は2012年フルモデルチェンジしたトヨタ・クラウンにMICHELIN Primacy LCが、ミシュランとして初めて純正装着されることで結実。これは社内でも高く評価されMRAがノイズ・コンフォートのエキスパートとして認められた瞬間でもありました。

当社では、これからも未来へ続くミシュランの歴史が、日本の皆様と共に発展できることを切に願っています。

